

イワザクラ	<i>Primula tosaensis</i> Yatabe var. <i>tosaensis</i>	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:準絶滅危惧)		サクラソウ科
選定理由	生育地が減少し、それぞれの集団での個体数も非常に少なくなっている。	写真(高橋弘)
形態の特徴	高さ5-10cm。数枚の葉を束生して柄は3-8cm。葉は円形で径3-7cm。縁は浅く裂け不揃いの歯牙がある。表面は無毛。裏面は葉脈上に軟毛がある。花冠は紅紫色で5裂。花喉部は橙黄色または黄白色。径2.5-3cm。蒴果は円柱形で萼より長い。花期は4-6月。	
生態的特徴	山地の岩地に生える多年草。	
分布状況	本州(岐阜県、紀伊半島)、四国、九州中部に分布する。県内では美濃西北部に自生する。	
減少要因	生育地の破壊と山草愛好家による採取。	
保全対策	生育地の保全、採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責:大沢律子